

2024~2025 年度クラブ運営方針
「生み出そう感謝される喜びを」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



2025 年 (令和 7 年) 1 月 15 日 (水)
第 1659 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (神野 次郎 SAA)



●開会点鐘 (田畑 勝久会長)

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱



●本日のお客様



木村 辰幸様
(東京立川ロータリークラブ)

●会務報告 (田畑 勝久会長)



皆さま、こんばんは。最近、インフルエンザが非常に流行しているようですので、どうぞ手洗いなど基本的な予防対策をしっかりと行い、体調管理にお気をつけください。予防といっても限られたことしかできないかもしれませんが、まずは日々の習慣を大切に

したいですね。

私事で恐縮ですが、12月31日、大晦日に8度5分ほどの発熱があり、その後も体調がいまひとつ優れない日

が続いております。還暦を迎えると、このように回復が遅く感じられるものなのでしょうか。

さて、本日の「年男大いに語る」のテーマに関してですが、登壇される皆さまは還暦を迎えられた方々ばかりです。ぜひ、その豊かなご経験とお元気あふれるお話をお聞かせいただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

●幹事報告 (岡野 和弘幹事)



1月9日(木)18時より昭和館にて「令和7年昭島まちづくり新年賀詞交歓会」が開催され、田畑会長と幹事の私で参加しました。

1月10日(金)19時より昭和館にて「昭島青年経営者クラブ新年賀詞交歓会」が開催され、幹事の私が参加しました。田口新理事長の熱い決意表明がありました。

1月12日(日)第70回昭島市新春駅伝競走大会が開催され、当クラブからは3チームエントリーして無事全チームタスキをつなぐことができました。選手及び応援に駆けつけてくれた会員の皆様ありがとうございました。結果は後日報告致します。

小金井 RC・立川 RC より例会変更の案内が届いておりますので、メイクをされる予定の方は事務局へお問い合わせください。

●ポール・ハリス・フェロー表彰



PHF+1 石岡 孝光会員・須田 宏樹会員
PHF 鈴木 洽六会員

須田 宏樹会員



今年、私は 12 月に還暦を迎えます。60 年の節目ということで、これまでの人生を振り返り、私自身の経験や歩みについてお話したいと思います。

1965 年 12 月 2 日、私は山梨県笛吹市（当時は伊沢温泉地域）で生まれました。父は建設会社「須田建設」を営んでおり、地元の公共施設やサービスエリアの建設を手掛けていました。その一例が、団子坂のサービスエリアです。父はまた、国際ロータリークラブの笛吹ロータリークラブに所属し、青少年交換プログラムで約 12 名の留学生をホストファミリーとして受け入れました。この環境が、私とロータリークラブの最初のつながりでした。

1984 年から 1985 年にかけて、ロータリークラブの青少年交換プログラムにより、アメリカ・ニューハンプシャー州コンコードのロータリークラブに派遣されました。出発時の私は、英語をほとんど話せず、コミュニケーションは「Yes」「No」程度。しかし、温かく迎えてくれたホストファミリーと地域の人々のおかげで、次第に現地の文化や言語に馴染むことができました。

ニューハンプシャー州は人口約 5 万人の小さな州都で、大統領選挙の注目地域としても知られています。私が通ったコンコードハイスクールでは、アメリカンフットボールに挑戦しました。この経験をきっかけに、実業団チームでも約 9 年間プレーし、アメフト人生は計 16 年続けました。また、留学中にはアメリカ一周旅行にも参加し、各国の交換留学生たちと交流を深めました。これらの経験が、私の人生において大きな転機となりました。

大学卒業後、金融業界に進み、国内外で多くのプロジェクトを手掛けました。特に、M&A や資金調達に関わる業務では、数多くの企業や投資家との連携を通じて重要な意思決定を支援しました。リーマンショックや 9.11 テロといった歴史的な出来事を直接経験し、多くの困難を乗り越えてきました。現在は、京都大学の先生とともに設立した会社で、M&A アドバイザリーや経営コンサルティングを行っています。企業と投資家をつなぐ役割を果たし、地域経済や事業の発展に寄与する仕事に取り組んでいます。

家族の中で初めて還暦を迎えることとなり、健康とこれまでの支えに感謝の気持ちでいっぱいです。これからもロータリークラブでの活動を通じて地域や社会に貢献しながら、次世代に希望をつなげていきたいと思っています。最後に、これまでの人生で得た経験をもとに、皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

半年を振り返ってみると、会長に就任して以来、くじら祭を皮切りに、親睦旅行、クリスマス例会、そして青少年野球教室と、多くの行事を行ってきました。これらすべてにおいて、私と岡野幹事が選んだ委員長の皆様には多大なご協力をいただきました。このご協力がなければ、どの行事も成功させることはできなかったと思います。改めて心より感謝申し上げます。

残り半年となりますが、とにかく全力を尽くし、無事に役目を終えられるよう頑張りたいと思います。以上です。

神野 次郎会員



今年、私は還暦を迎えます。還暦とは、一巡した人生の節目ですが、私にとっては特別な意味があります。私の父は 59 歳で、兄は 55 歳で亡くなりました。ですから、家族の中で初めて還暦を迎える男性になれるかもしれないことを、とても感慨深く思っています。

この節目を迎えるにあたり、これまでの人生を振り返り、支えてくれた方々や周囲の環境に深く感謝しています。

私には 3 人の娘がいます。一番上は 28 歳で結婚し、今では 2 歳になる孫がいます。孫が生まれたことは、私にとって大きな喜びでした。私が一番好きな映画は『ゴッドファーザー』なのですが、主人公が孫と遊びながら人生を閉じるシーンがとても心に残っています。私もいつか孫と遊びながら穏やかに最後を迎えたいという夢を抱いています。孫の存在が、そんな未来をより現実的に感じさせてくれるものになりました。

私はシカゴで生まれました。当時、父はソニーのシカゴ支店長を務めていましたが、まだ立ち上げたばかりの小さな拠点でした。その後、2 歳でロサンゼルス、5 歳でニューヨークに転勤し、9 歳で日本に帰国しました。帰国後、小学校から高校までは渋谷区で過ごしました。長谷戸小学校、鉢山中学校、都立青山高校を卒業し、その後、慶應義塾大学理工学部に進学しました。大学では応用科学科に所属し、卒業後はアメリカの化粧品会社レブロンの子会社にある研究室に勤務しました。アメリカでの生活は楽しいものだと期待していましたが、実際は研究室の環境に馴染むのが難しく、寂しい思いをすることも多々ありました。その中で、日本から赴任していた友人や知人と交流することが、心の支えとなりました。

その後、友人の紹介で日本の山一証券に転職し、海外営業推進部に働きました。海外ファンドマネージャーを招いて日本株セミナーを開催したり、企業との交流を深めるイベントを企画したりと、多岐にわたる仕事を経験しました。しかし、当時の山一証券は信用度に課題があり、限界を感じる場面も多々ありました。その後、外資系証券会社に転職し、1990 年代から 2000 年代にかけて、多くの転機を迎えることになります。特に、1999 年と 2000 年は私にとって非常に良い年でした。その後も運に恵まれ、仕事で成功を収める時期が続きましたが、2008 年のリーマンショックを機に、証券業界の厳しさも目の当たりにしました。それ以降は蓄えを活かしながら、穏やかに人生を送ることを目指しています。

政治の世界に関わるきっかけとなったのは、友人である小田原潔氏の参院選への挑戦でした。落選後も彼との交流は続き、次の衆院選に挑戦する際には選挙活動を手伝うようになりました。結果として彼は比例復活で当選し、その後、秘書として彼を支えることになりました。秘書時代には昭島市を担当し、地域の方々とのつながりを深めました。そして 2013 年、昭島市から都議選に立候補する候補者を探していた際、私に白羽の矢が立ちました。正直なところ、昭島市についての知識は十分ではありませんでしたが、周囲の皆さんの支えを受けて立候補を決意しました。その年の選挙では自民党から 59 名が立候補し、全員が当選するという追い風の中で、無事に都議会議員としての第一歩を踏み出しました。それから今日まで、昭島市を中心に地域の発展と住民の皆さまの声を第一に活動を続けております。還暦を迎える今年、これまで支えていただいたすべての方々に改めて感謝を申し上げますとともに、今後も地域のために力を尽くしてまいります。

太田 剛会員



こんばんは。改めまして、私の話をさせていただきます。すでに入会時にもお話した内容が重複するかもしれませんが、ぜひお付き合いいただければと思います。

まず、この会場についてお話させていただきます。この昭和館は、1998年(平成10年)の開業以来、

多くの皆様にご利用いただいておりますが、残念ながら今年の1月末で営業終了となりました。27年間もの間、定例会場として、また個人の場面でも多くの方々にご利用いただき、心より感謝申し上げます。

さて、私自身についてですが、1965年(昭和40年)2月4日生まれで、間もなく60歳を迎えます。私どもの会社では、定年が3月末となっておりますので、今年3月で一区切りとなる予定です。再雇用の可能性もありますが、先行きは現時点では不透明です。

私の家族は、母、妻、娘の4人で暮らしています。父は私が高校1年生の春、47歳で他界しました。それ以来、母と姉に支えられながら学生生活を送り、大学時代はアルバイトで多少の小遣いを稼ぎながらも、家族の助けを受けて無事に卒業することができました。現在も、家庭内では母、妻、娘、時には姉も交えた「3対1」や「4対1」の状況が日常的で、私の発言は「はい」だけという環境です(笑)。

会社には1988年(昭和63年)4月に入社し、今年で37年目になります。これまで資材部や購買部、不動産部門、総務人事部、そして経営企画部と多岐にわたる業務を経験しました。特に印象深いのは、不動産部門で「昭和館」の事業計画から開業準備に携わったことです。数字を積み上げながら事業計画を練り直し、役員会を通過させる苦労を経て、無事にこのホテルが完成しました。

また、総務人事部では、株主総会や労働組合の窓口対応、記念誌の編纂なども担当しました。経営企画部では、親会社の意向を受けたTOB(株式公開買付け)のプロジェクトに従事し、会社売却の交渉窓口を務めました。この経験は非常に大きな責任を伴うもので、精神的にも辛い時期でしたが、誰かがやらなければならない仕事だと自分に言い聞かせ、取り組みました。

還暦を迎えるにあたり、健康について改めて考えています。ここ数年、健康診断ではコレステロール値や飲酒量、体重管理について注意を受け続けていますが、なかなか改善には至っておりません。先輩方が病気で早くに亡くなるケースも見てきましたので、自分自身も健康に留意しつつ、少しでも長く元気で過ごしたいと思っています。

ロータリークラブに入会して4年目となりましたが、まだまだ学ぶべきことがたくさんあります。これからも皆様とともに学び、成長していければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

(鈴木 治六親睦委員)



◎田畑会長

木村直前会長、ご来訪ありがとうございます。年男の皆様、卓話ありがとうございます。

○磯野会員

新春駅伝競走に参加いたしました。完走できました。チームワークを祝しまして。

○若杉会員

昭島駅伝大会に参加の選手の皆様、又応援団の皆様、寒い中、お疲れ様でした。

・岡野幹事

木村辰幸様、本日はご来訪ありがとうございます。須田会員、神野会員、太田会員、楽しい卓話ありがとうございました。

出席報告

(菅野 晋央出席委員)



会員数	54名
出席義務会員	53名
本日の出席	29名

次週例会予定

(重森 元樹プログラム委員長)



1月22日(水)
新会場 初例会
「お披露目会 会場説明会」

閉会点鐘

(田畑 勝久会長)

